

13

第13期 期末報告書

2008.10.1 - 2009.9.30

dwango

dwango



株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
第13期(2008年10月から2009年9月まで)における業績の概況について
ご報告いたします。

代表取締役社長
小林 宏

当連結会計年度におきましては、モバイル事業において主に着うたフル®の会員数が堅調に推移し、またポータル事業においても「ニコニコ動画」のプレミアム会員数(有料会員数)が順調に推移し予想を上回る伸びを示しました。

しかしながら、ゲーム事業において全般的な販売計画本数の未達、ポータル事業においては「ニコニコ動画」の広告収入等の計画未達などにより、結果、売上高は265億68百万円(前期比6.4%増)となりました。

経費につきましては、モバイル事業において、原価率の高い着うた®、着うたフル®サイトの比率が高まる傾向が続き、著作権使用料が増加しております。また、「ニコニコ動画」につきましても、登録会員数の増加に伴う設備投資や回線費用の増加は落ち着いたものの、人気サービスである「ニコニコ生放送」などの集客に繋がる新サービスへの先行投資が発生しております。

以上の結果、営業利益は3億97百万円(前期比243.8%増)、経常利益は3億42百万円(前期比217.6%増)となりました。

また、事業資産の減損損失11億48百万円、投資有価証券評価損37百万円などを含め12億23百万円を特別損失に計上し、法人税等調整額を1億3百万円計上したことにより、当期純損失は7億82百万円(前期は22億98百万円の損失)となりました。

モバイル事業とならび、当社の主要ビジネスとなる「ニコニコ動画」は、サービス開始より3年目を迎え、順調に成長してまいりました。2008年11月には登録会員数1,000万人を超え、2009年9月末時点において登録会員数1,425万人となりました。

当事業における2つの重点戦略である一般化・収益化を

推し進めるため、メディアとしての認知度向上や、ユーザ間におけるコミュニティ形成など、一層のサービス強化に努めてまいりました。

一般化につきましては、性別や年齢にかかわらず、あらゆるユーザの趣味嗜好に対応するため優良コンテンツホルダーとの関係を強化し、様々なコンテンツが楽しめる「ニコニコチャンネル」の拡大を図りました。

収益化につきましては、様々な特典が受けられる有料サービス「ニコニコプレミアム会員」(2009年9月末会員数約51万人)の有料会員収入が大きく貢献しております。「ニコニコプレミアム会員」につきましては、各種イベントや帯番組などをリアルタイム配信する「ニコニコ生放送」の人気や、携帯端末のキャリア公式メニューから「ニコニコプレミアム会員」への入会(決済)が可能になるなど、ユーザ利便

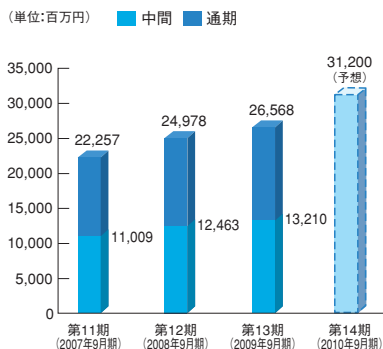
性向上により急速に会員数が増加しました。

今後も引き続き、集客力のある「ニコニコ生放送」やユーザ参加型サービスの強化、他の事業との連携による収益機会の拡充など、当社の中核事業化に向けて積極的な事業展開を図ってまいります。

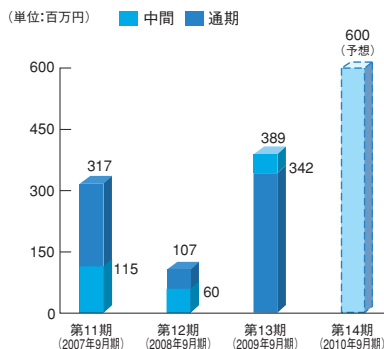
当社グループでは、モバイルビジネス及び「ニコニコ動画」を中心に、年齢や性別、国籍を超えた多種多様なユーザニーズに応え、サービス拡充やユーザビリティの向上はもちろんのこと、インターネット上における斬新なサービスを継続的に提供できるよう、取り組んでまいります。

株主の皆様には何卒ご理解のうえご支援賜りますようお願い申し上げます。

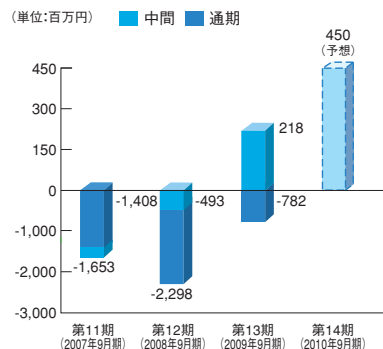
連結売上高



連結経常利益



連結当期純利益



》》》 モバイル事業

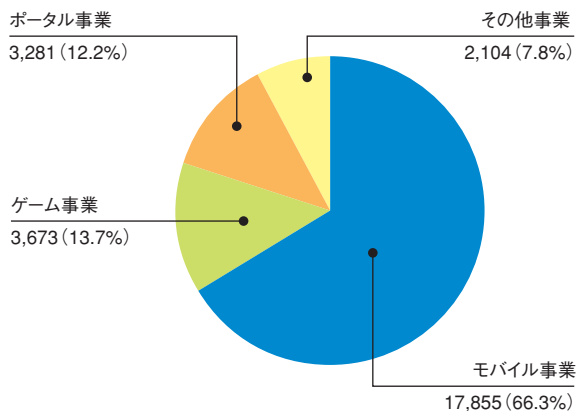
モバイル事業におきましては、着うたフル®サイトにおいて、引き続き人気アーティスト・楽曲の権利獲得に注力しました。また、新曲との連動企画、他社とのタイアップ企画、効果的なプロモーションによる会員入会導線の見直しなど、様々な施策を積極的に実施したことにより、会員数が増加しました。他では、高音質な楽曲の配信サイト「フルプラス」や、ゲームでは、アイテム課金型のオンラインRPGサイトなど、ブロードバンド化による携帯端末の新機能に合わせた新しいジャンルにも積極的に取り組むなど、日々変化するユーザーニーズにいち早く対応するべく、さらなるラインナップの充実やサービス向上を継続し、新たな

会員の獲得に努めました。費用面においては、着うた®、着うたフル®の利用増加に伴い著作権使用料が増加しておりますが、クオリティを向上させる一方で効率化を推進し、制作や運営にかかわる費用については削減に努めました。

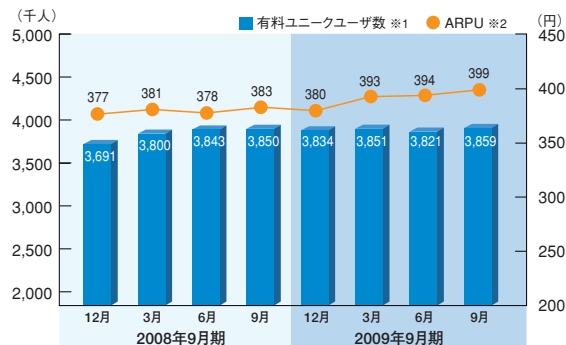
これらの取り組みにより当連結会計年度末の有料ユニークユーザ数は385万人(前期比8千人増)、ARPUは399円(同16円増)となりました。ARPUにつきましては、着うた®、着うたフル®等の高単価コンテンツを配信するサイトの会員数が増加したことによるものです。

モバイル事業の売上高は178億55百万円(前期比6.3%増)、営業利益は45億63百万円(同34.0%増)となりました。

● セグメント別売上高 (単位:百万円)



● ユニークユーザ数とARPUの推移



※1 有料ユニークユーザ数とは、ユーザーIDに基づきカウントする有料ユーザ数。延べ数ではなく、同一ユーザが複数サイトへ加入している場合にも1人としてカウント。

※2 ARPU (Average Revenue Per User) とはユーザー1人当たりの月間売上高のこと。同一ユーザの複数サイトへの加入状況を把握することで算出が可能(顧客単価と同義)。

モバイルコンテンツ一覧

着うた®CMでもお馴染みの音楽配信サイトを主力に、ゲーム、待受、情報系サイトなど多彩なラインナップで展開している携帯電話向けコンテンツ配信サービスです。<全47サイト/2009年10月時点>

	サイト名	キャリア			主なコンテンツ
音楽系	dwango.jp(うた)/dwango.jp(フル)	docomo	au	SoftBank	着うた®/着うたフル®
	dwango.jp取放題DX	docomo	au	SoftBank	オリジナル総合コンテンツ
	dwango.jp(歌詞+)	docomo	au	SoftBank	歌詞
	dwango.jp(映画)	docomo	au	SoftBank	映画専門着うた®
	ビルボード公式/ビルボード公式(フル)	docomo	au	SoftBank	洋楽専門着うた®/着うたフル®
エンタメ系	dwango.jp(コール)	docomo	au	SoftBank	呼び出し音
	dwango.jp(ボイス)	docomo	au	SoftBank	着信ボイス
	dwango.jp(デコメ)/dwango.jp(待受)	docomo	au	SoftBank	デコメ/待受
	きせかえドワンゴ	docomo	—	SoftBank	きせかえツール
ゲーム系	携帯ゲーム百選/dwango.jp(ゲーム300)	docomo	au	SoftBank	総合ゲーム
	携帯ゲームオンライン-メルル-の秘宝-	docomo	—	—	オンラインRPGゲーム
	インストールメアリー	docomo	—	—	育成アドベンチャーゲーム
	悠久の騎士団ONLINE	docomo	—	—	オンラインRPGゲーム
	梅沢由香里の碁	docomo	—	—	囲碁ゲーム
	風来のシレン	docomo	au	SoftBank	ダンジョンRPG
	チュン@かまいたちの夜	docomo	—	—	サウンドノベル
	かまいたちの夜シリーズ/弟切草	—	au	SoftBank	サウンドノベル
	ご当地検定	docomo	au	—	ご当地クイズゲーム
	忍道	—	au	SoftBank	アクションゲーム
	喧嘩番長/侍道/忍道	docomo	—	—	アクションゲーム
	CRASH!デコトラ伝説	—	au	—	3Dアクションレースゲーム
	女帝・乱れ咲く華	docomo	—	—	ドラマゲーム
	双剣舞曲オンライン	docomo	—	—	MMORPGゲーム
アニメ系	アニメロミックス/アニメロ★うた	docomo	au	SoftBank	アニメ専門着メロ/着うた®
	アニメロミックストコール	docomo	au	—	アニメ専門呼び出し音
	超アニメロ	docomo	au	SoftBank	アニメ・ゲーム専門着うたフル®
	ToLOVEる-とらぶる-	docomo	au	SoftBank	テレビアニメ公式サイト
	綾魂モバイル	docomo	au	SoftBank	平野綾公式サイト
情報系他	dwango.jp(ブック)	docomo	—	—	電子書籍
	マリー★オリジン	docomo	au	SoftBank	占い
	大相撲	docomo	au	SoftBank	日本相撲協会公式情報サイト
	TOWER MOBILE	docomo	au	SoftBank	タワーレコード公式CD・DVD販売
	えいご漬け	docomo	au	SoftBank	英語学習
	天気地震台風速報	docomo	au	SoftBank	気象情報

※各社の社名、製品名、サービス名は、各社の商標または登録商標です。



>>> ゲーム事業

ゲーム事業におきましては、引き続き、携帯型、据置型に自社ソフトを提供していくとともに、受託及び共同開発や、海外ソフトの権利を取得し、それを国内にて提供していく販売モデルを実施いたしました。2008年11月に発売しました「侍道3」や「喧嘩番長3～全国制覇～」、2009年2月に発売しました「Midnight Club:Los Angeles」、2009年4月に発売しました「ポケモン不思議のダンジョン 空の探検隊」などが売上に貢献していますが、その他のタイトルが全般的に販売計画未達となりました。ネットワー

クゲームにつきましては、2009年5月にMMORPG「Blade Chronicle」の正式サービスを開始しましたが、サービス開始時期の遅れや、ネットワークゲーム市場環境の変化、他社サービスとの競争激化などにより、未だ本格的な収益貢献には至っていません。

以上の結果、ゲーム事業の売上高は36億73百万円(前期比25.8%減)、営業利益は3億85百万円(同46.4%減)となりました。

ゲーム・パッケージ紹介

■ 発売元：株式会社スパイク

2008年11月13日発売 PLAYSTATION3用

「侍道3」

侍が最も活躍し、合戦の中に散っていった戦国時代が舞台!



©2008 Spike Co., Ltd. Developed by Acquire Corp. All Rights Reserved.

■ 発売元：株式会社スパイク

2008年11月27日発売 PSP用

「喧嘩番長3～全国制覇～」

喧嘩に明け暮れながら青春をひた走るツッパリたちの物語



© 2008 Spike All Rights Reserved.

■ 発売元：株式会社セガ

2008年12月4日発売 Wii用

「428 ～封鎖された渋谷で～」

豪華スタッフが集結し誕生したサスペンスサウンドノベル



(開発元：株式会社チュンソフト)
© 2008 CHUNSOFT

■ 発売元：株式会社スパイク

2009年12月3日発売 Wii用

「東京フレンドパークII 決定版

～みんなで挑戦! 体感アトラクション～
大人気バラエティ番組の21種類のアトラクションに挑戦!



© TBS © Spike

※「PLAYSTATION3」「PSP」は株式会社ソニー・コンピュータエンターテインメントの登録商標です。 ※「Wii」は任天堂株式会社の登録商標です。 ※各社の社名、サービス名は、各社の商標または登録商標です。

》》》 ポータル事業

ポータル事業におきましては、「ニコニコ動画[※]」が順調に登録会員数を伸ばしています。2008年12月には新しいバージョンである「ニコニコ動画(ββ)」のサービスを開始し、さらなるサービス強化やユーザ利便性向上に努めたことにより、PV数やユーザ滞在時間など重要指標も堅調な推移を見せています。現状の収益の柱は、プレミアム会員からの有料サービス収入をはじめ、広告収入、アフィリエイト収入、ポイントシステムを利用したポイント収入があり、いずれも着実に売上貢献し始めて

はいるものの、広告収入が経済環境の影響などもあり伸び悩んでいます。また人気サービスである「ニコニコ生放送」にかかる制作費用が発生し、未だ収益化には至っていません。

以上の結果、ポータル事業の売上高は32億81百万円(前期比81.2%増)、営業損失は18億30百万円(前期は15億15百万円の損失)となりました。

※ニコニコ動画につきましてはP7以降をご覧ください。

》》》 その他事業

その他事業におきましては、アニメーション番組等への出資による利益分配金や音楽出版、イベント興行収入、ゲームソフト攻略本によるロイヤリティ収入等がそれぞれ売上に貢献しています。しかしながら、アニメ関連事業など、未だ事業の本格的な立ち上げに至って

おらず、結果、その他事業の売上高は21億4百万円(前期比37.2%増)、営業損失は27百万円(前期は44百万円の損失)となりました。

新しいコミュニケーションの場『ニコニコ動画』



ニコニコ動画
NICO NICO DOUGA

PC : <http://www.nicovideo.jp>

携帯電話 : <http://m.nicovideo.jp>

再生中の動画にコメントを書き込むことができる動画コミュニティサイト『ニコニコ動画』は、2007年1月のサービス開始以来、その独自性に加え斬新でユニークなサービスを継続的に投入することにより、登録会員数は1,400万人を超えました。今や、インターネット利用者の約6人に1人^{*1}、そして日本人の20代の約2人に1人^{*2}が『ニコニコ動画』の会員となっています。

『ニコニコ動画』は国内最大級のネットコミュニティサービスにとどまらず、メディアとしての地位も確立しています。そして、ユーザが動画という共通の話題を通じて多くの人とつながりを持つコミュニケーションの場として、生活の一部に定着しつつあります。

ニコニコ動画の利用状況(2009年9月当社計測値)

1日平均PV数 : **6,070万PV**

1日平均訪問者数 : **229万人**^{*3}

1訪問の平均滞在時間 : **37.2分**

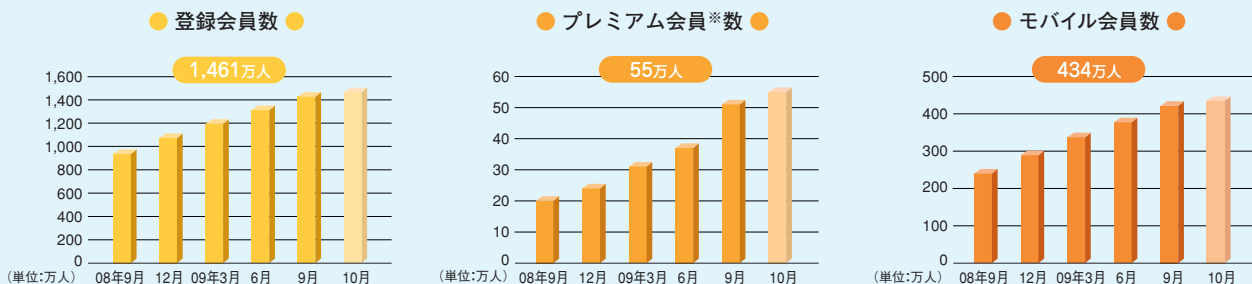
^{*1} 日本国内のインターネット利用者推計9,091万人

(総務省「通信利用動向調査」2009年1月データより)

^{*2} 日本人20代人口推計1,407万人(総務省統計局2009年6月データより)

^{*3} ユニークユーザ数

ニコニコ動画の会員数推移(2009年10月末時点)



^{*}プレミアム会員=有料会員・・・月額525円またはチケット課金90日1,680円にて、専用回線での快適な視聴や生放送の優先視聴ほか様々な特典を受けられる。

いつでもどこでも楽しめる『ニコニコ動画モバイル』

『ニコニコ動画モバイル』は、ニコニコ動画の携帯電話向けサービスです。今期、ドコモ、au、ソフトバンクの3キャリアでの公式サイト化が完了、また2008年11月にソフトバンク、2009年7月にau、8月にドコモにて月額課金対応が開始となり、続いて9月にはドコモの「お試しマイメニュー※」が対応可能となりました。これらの機能拡張によって、会員登録への導線が拡大し、さらに決済手段も多様化したことで、『ニコニコ動画モバイル』からのプレミアム会員への登録が加速しました。

※3日間無料でプレミアム会員を体験でき、解約しなければそのまま正規会員に登録されます。



【各キャリアからのアクセス方法】

docomo (i-mode®)

[iMenu] ⇒ [メニューリスト] ⇒ [コミュニティ/SNS] ⇒ [ニコニコ動画モバイル]

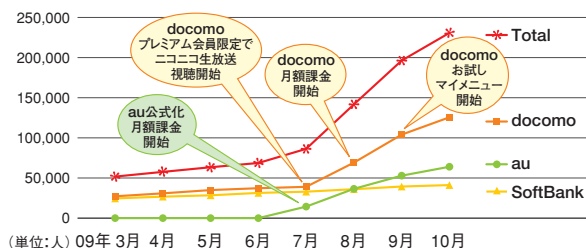
au (EZweb)

[au one] ⇒ [カテゴリ(メニューリスト)] ⇒ [コミュニティ] ⇒ [SNS] ⇒ [ニコニコ動画モバイル]

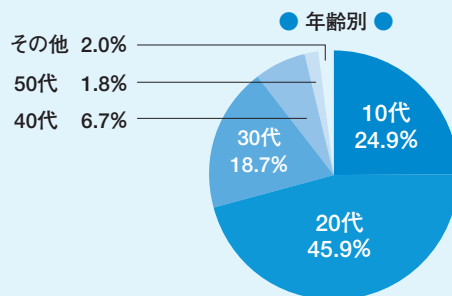
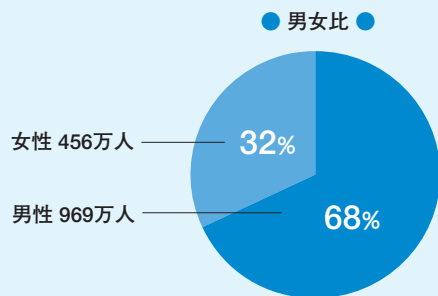
SoftBank (Yahoo!ケータイ)

[メニューリスト] ⇒ [コミュニケーション] ⇒ [動画共有] ⇒ [ニコニコ動画モバイル]

【モバイル決済でのプレミアム会員登録推移】



ニコニコ動画会員のユーザ属性 (2009年9月末時点)



活性化・収益化に貢献『ニコニコ生放送』

『ニコニコ生放送』は、今行われているイベントをリアルタイムで配信(生放送)するサービスで、最大2万人規模の同時視聴が可能。ユーザーが同じ時間にひとつの動画に集まって、一斉に視聴しながらコメントでの意見交換を行うことで、リアルな一体感を共有することができます。また、混雑時にはプレミアム会員が優先視聴となるため、人気生放送番組がプレミアム会員の獲得に貢献しています。

ニコニコ生放送の利用状況(2009年9月当社計測値)

1日平均PV数 : 290万PV

1日平均訪問者数 : 14万人※

1訪問の平均滞在時間 : 87.4分

※ユニークユーザー数



過去の生放送番組

「夏だ!祭りだ!コメントだ!
ニコニコ動画12時間ぶっ通し生放送!!」

7月30日12時より著名タレント出演による多彩なプログラム構成で、2009年のネット夏祭りを初の12時間生放送にて実施!開始1分後には来場者が1万人を突破し、総来場者数は25万人、総コメント数は200万件以上という数値を記録しました。



- 出演: 浜田雅功、梅宮辰夫、GACKT、はるな愛、YOU、他多数
- 内容: ダウンタウン浜田雅功氏を司会に迎えたバラエティ、音楽祭、箱根~大手町間自転車110km走破、映画「レッドクリフ」ニコニコ特別版上映、他

「第45回衆院選 開票速報!
ニコニコ総選挙特番2009!」

8月30日20時より5時間にわたり、初の選挙特番を実施。総合司会に政治ジャーナリストの角谷浩一氏を迎え、歴史的瞬間を各政党より“多元中継”という試みで配信しました。

自民党の林芳正議員、民主党の川内博史議員、新党日本の田中康夫議員に電話でゲスト出演していただきました。また、民主党の海江田万里議員は当選後間もなくスタジオに登場、社民党の福島みずほ党首には単独インタビューを行いました。

総来場者数18万人、総コメント数133万件と、他の選挙特番のテレビ中継に劣らぬ盛り上がりとなり、新しいメディアとしての認知度を上げた瞬間でもありました。



幅広いジャンルで一般化に貢献『ニコニコチャンネル』

2008年12月に開設した『ニコニコチャンネル』は、現在190以上の法人による公式動画チャンネルを抱える動画プラットフォームに成長しました。プロモーションを目的とした無料チャンネルと有料動画を配信するチャンネルがあり、企業、政党、メディア、音楽、スポーツ、映画、お笑いなど、様々なジャンルからの優良な外部パートナーによる豊富なコンテンツを展開し、幅広いユーザー層の獲得に貢献しています。

また『ニコニコチャンネル』では、動画を活用した応募キャンペーンや、『ニコニコ生放送』での新商品発表会なども積極的に実施しています。



注目のチャンネル

「楽天イーグルスチャンネル」

ニコニコ動画で初めてのプロ野球チーム公式チャンネルとなります。楽天イーグルス公式戦からクライマックスシリーズも全編にわたり完全生中継。さらに、ホームゲームの試合ハイライトや試合後のヒーローインタビュー、野村監督の会見模様など楽天イーグルスファン必見の動画を随時配信しています。



生中継では、試合開始直後に満席状態となり(視聴限定数に達し)、応援やアドバイスなどのコメントが次々と書き込まれ、スタジアムさながらの賑わいを見せています。『ニコニコ生放送』を利用した生中継は、テレビ中継では味わえない臨場感と一体感を楽しむことができる、と人気を集めています。

「コクうま料理祭チャンネル」

9月14日に、味の素公式「コクうま料理祭チャンネル」がオープン。

同日より、味の素から発売中の「ピュアセレクト®コクうま」などマヨネーズを使った料理動画を募集する『第1回コクうま料理祭』というキャンペーンを開催。料理だけでなく演出にも凝ったニコニコ動画ならではの個性豊かな作品が多数寄せられました。優秀作品動画が配信されると、「美味しそう!」「作ってみたい」などのコメントが書き込まれ、すでにニコニコ動画の料理動画コーナーで話題となっていたユーザーの作品が登場すると「流石」「おめでとう!」といったコメントが飛び交い、さらなる盛り上がりを見せました。見事優秀作品に選ばれた方には、味の素より豪華賞品が贈られました。



● 連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	当期 (2009年9月30日現在)	前期 (2008年9月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	16,057,808	17,575,354
現金及び預金	4,278,985	7,215,802
受取手形及び売掛金	5,668,938	4,989,165
有価証券	4,303,591	4,458,903
たな卸資産	—	195,944
商品及び製品	47,550	—
仕掛品	854,621	—
原材料及び貯蔵品	16,578	—
繰延税金資産	43,275	82,227
その他	849,471	633,311
貸倒引当金	△ 5,205	—
固定資産	4,863,822	5,040,067
有形固定資産	991,618	1,470,943
建物及び構築物	245,837	275,243
工具器具備品	737,237	1,193,184
リース資産	6,790	—
その他	1,752	2,515
無形固定資産	884,931	774,132
投資その他の資産	2,987,272	2,794,990
投資有価証券	2,303,186	2,145,414
繰延税金資産	68,312	132,615
その他	615,773	516,960
資産合計	20,921,631	22,615,422

科目	当期 (2009年9月30日現在)	前期 (2008年9月30日現在)
(負債の部)		
流動負債	5,892,167	4,985,097
支払手形及び買掛金	1,814,083	1,510,387
短期借入金	900,000	900,000
未払金	1,250,623	1,366,002
リース債務	1,645	—
未払法人税等	88,416	152,524
賞与引当金	392,450	335,047
返品調整引当金	34,912	35,632
その他	1,410,035	685,502
固定負債	63,295	2,284
リース債務	5,563	—
繰延税金負債	57,060	—
その他	672	2,284
負債合計	5,955,463	4,987,382
(純資産の部)		
株主資本	14,324,709	16,976,763
資本金	10,072,922	10,070,222
資本剰余金	9,777,276	10,170,308
利益剰余金	△ 4,046,242	△ 3,263,768
自己株式	△ 1,479,247	—
評価・換算差額等	76,209	△ 5,565
少数株主持分	565,249	656,841
純資産合計	14,966,168	17,628,039
負債純資産合計	20,921,631	22,615,422

● 連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当期	前期
	(自 2008年10月1日 至 2009年9月30日)	(自 2007年10月1日 至 2008年9月30日)
売上高	26,568,742	24,978,372
売上原価	16,112,481	14,232,001
売上総利益	10,456,260	10,746,370
販売費及び一般管理費	10,059,146	10,630,872
営業利益	397,113	115,498
営業外収益	63,468	73,662
営業外費用	118,259	81,376
経常利益	342,323	107,783
特別利益	80,419	1,908
特別損失	1,223,289	1,139,868
税金等調整前当期純損失(△)	△ 800,547	△ 1,030,176
法人税、住民税及び事業税	110,880	382,581
過年度法人税等戻入額	△112,439	—
法人税等調整額	103,302	1,029,110
少数株主損失(△)	△ 119,815	△ 143,388
当期純損失(△)	△ 782,474	△ 2,298,480

● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当期	前期
	(自 2008年10月1日 至 2009年9月30日)	(自 2007年10月1日 至 2008年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,111,536	1,176,491
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,555,572	△ 1,659,719
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,845,756	83,052
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 2,335	△ 2,005
現金及び現金同等物の増減額	△ 3,292,128	△ 402,180
現金及び現金同等物の期首残高	11,674,706	12,076,886
現金及び現金同等物の期末残高	8,382,577	11,674,706

● 連結株主資本等変動計算書 (自 2008年10月1日 至 2009年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本				評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定			評価・換算 差額等合計
2008年9月30日残高	10,070,222	10,170,308	△3,263,768	—	16,976,763	△6,170	605	△5,565	656,841	17,628,039
連結会計年度中の変動額										
新株の発行	2,700	2,700			5,400					5,400
剰余金(その他資本剰余金)の配当		△395,732			△395,732					△395,732
当期純損失(△)			△782,474		△782,474					△782,474
自己株式の取得				△1,479,247	△1,479,247					△1,479,247
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						83,006	△1,232	81,774	△91,592	△9,817
連結会計年度中の変動額合計	2,700	△393,032	△782,474	△1,479,247	△2,652,053	83,006	△1,232	81,774	△91,592	△2,661,871
2009年9月30日残高	10,072,922	9,777,276	△4,046,242	△1,479,247	14,324,709	76,835	△626	76,209	565,249	14,966,168

● 単体貸借対照表

(単位:千円)

科目	当期 (2009年9月30日現在)	前期 (2008年9月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	13,427,888	15,378,743
固定資産	4,816,373	6,588,571
資産合計	18,244,261	21,967,315
(負債の部)		
流動負債	3,798,322	3,543,961
固定負債	57,060	—
負債合計	3,855,382	3,543,961
(純資産の部)		
株主資本	14,311,772	18,429,301
資本金	10,072,922	10,070,222
資本剰余金	9,777,276	10,170,308
利益剰余金	△ 4,059,178	△ 1,811,229
自己株式	△ 1,479,247	—
評価・換算差額等	77,105	△ 5,947
純資産合計	14,388,878	18,423,353
負債純資産合計	18,244,261	21,967,315

● 単体損益計算書

(単位:千円)

科目	当期 (自 2008年10月1日 至 2009年9月30日)	前期 (自 2007年10月1日 至 2008年9月30日)
売上高	21,235,439	18,705,886
売上原価	13,143,095	11,667,660
売上総利益	8,092,344	7,038,225
販売費及び一般管理費	7,418,998	7,005,671
営業利益	673,345	32,554
営業外収益	70,768	79,451
営業外費用	27,951	19,943
経常利益	716,163	92,062
特別利益	50,599	—
特別損失	3,010,912	1,313,348
税引前当期純損失(△)	△ 2,244,149	△ 1,221,286
法人税、住民税及び事業税	3,800	11,514
法人税等調整額	—	884,533
当期純損失(△)	△ 2,247,949	△ 2,117,334

● 単体株主資本等変動計算書

(自 2008年10月1日 至 2009年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本									評価・換算差額等		純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計					
2008年9月30日残高	10,070,222	2,620,745	7,549,563	10,170,308	15,903	△1,827,133	△1,811,229	—	18,429,301	△5,947	△5,947	18,423,353
事業年度中の変動額												
新株の発行	2,700	2,700		2,700					5,400			5,400
剰余金(その他資本剰余金)の配当			△395,732	△395,732					△395,732			△395,732
当期純損失(△)						△2,247,949	△2,247,949		△2,247,949			△2,247,949
自己株式の取得								△1,479,247	△1,479,247			△1,479,247
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)										83,053	83,053	83,053
事業年度中の変動額合計	2,700	2,700	△395,732	△393,032	—	△2,247,949	△2,247,949	△1,479,247	△4,117,528	83,053	83,053	△4,034,475
2009年9月30日残高	10,072,922	2,623,445	7,153,831	9,777,276	15,903	△4,075,082	△4,059,178	△1,479,247	14,311,772	77,105	77,105	14,388,878

株式の状況 (2009年9月30日現在)

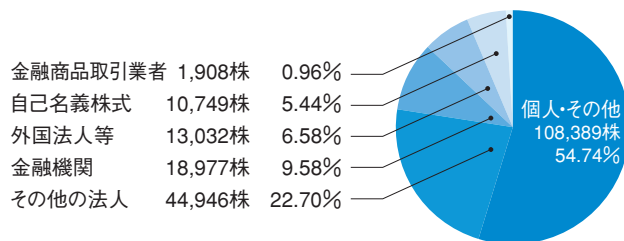
発行可能株式総数	528,000株
発行済株式総数	198,001株
株主数	12,761名

大株主の状況

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
エイバックス・グループ・ホールディングス株式会社	40,900	20.65
川上 量生	36,395	18.38
森 栄樹	10,100	5.10
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,511	3.28
太田 豊紀	4,750	2.39
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,285	1.65
小林 宏	1,960	0.98
有限会社パーセント	1,815	0.91
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニー レギュラーアカウント	1,559	0.78
野村信託銀行株式会社(投信口)	1,525	0.77

※上記の他、自己株式10,749株を保有

所有者別株式数比率



会社概要 (2009年9月30日現在)

設立年月日	1997年8月6日
本社所在地	〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-31-1 浜町センタービル
資本金	100億7,292万円
従業員数	単体 486名 連結 789名
事業内容	次世代ネットワークエンタテインメントを対象としたコンテンツ及びシステムの企画、開発、運用、サポート、コンサルティング

役員 (2009年12月17日現在)	代表取締役会長	川上 量生
代表取締役社長	小林 宏	
取締役副社長	太田 豊紀	
取締役	松本 康一郎	
取締役	夏野 剛	
取締役	麻生 巖	
取締役	荒木 隆司	
取締役	佐藤 辰男	
監査役(常勤)	小池 哲	
監査役	鈴木 祐一	
監査役	永野 明	
監査役	藤田 隆	

子会社	株式会社ドワンゴ・ミュージックエンタテインメント 株式会社ドワンゴプランニングアンドディベロップメント 株式会社ニワンゴ 株式会社スカイスクレイパー 株式会社モバイルコンテンツ 株式会社ゲームズアリーナ 株式会社チュンソフト 株式会社スパイク 株式会社ティーアンドイーソフト ゲームズアリーナ有限責任事業組合2号 ai sp@ce製作委員会 多玩國股份有限公司(台湾 台北市)
-----	---

関連会社 株式会社AG-ONE

IRカレンダー(予定) ※日程の詳細は、当社ホームページに随時掲載いたします。

第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	通期 決算発表	株主総会 期末報告書 配布		第1四半期 決算発表			第2四半期 決算発表	中間報告書 配布		第3四半期 決算発表	

株主メモ

事業年度 10月1日～翌年9月30日

定時株主総会 毎年12月

期末配当基準日 9月30日

※その他必要があるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。

公告方法 電子公告により行う

公告掲載 URL <http://info.dwango.co.jp/ir/>

※なお、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人

特別口座の 三菱UFJ信託銀行株式会社

口座管理機関

同 連絡先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

TEL:0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所

■ご注意

- ① 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- ② 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- ③ 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

当社ホームページのご紹介

ホームページのIR情報サイトでは、決算情報やIR資料、最新のニュースリリースなどを掲載しています。

 <http://info.dwango.co.jp/>

 <http://info.dwango.co.jp/>

またはこちら▶



■ メールニュース(無料)

IR関連の最新情報をメールでお届けするサービスです。パソコンか携帯のメールアドレスをお持ちであれば、どなたでもご登録いただけます。

▼
ホームページ
「IR情報」サイト

▼
「メールニュース」からご登録



dwango

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-31-1 浜町センタービル

TEL:03-3664-5477 FAX:03-3664-5478 E-mail: ir@dwango.co.jp URL: <http://info.dwango.co.jp/>